

でしたが、体罰の根絶や体罰を許さない環境づくりに一層努めてまいります。

米軍戦闘機低空飛行

中止の申し入れを

藤元議員

私の調査では、飛行日数は今年に入ってから51日、飛行数は135機で増える一方です。そして、15回の夜間飛行もありました。町民のみなさんから、「びつくりして寝られなくなる」「朝が早いのに起こされてしまう」などの声が寄せられています。

写真や音量などの客観的事実を突きつけ、政府や米軍に中止の申し入れをすべきではないか。

福井町長

昨年12月から米軍機の低空飛行が頻繁に行われるようになっており、騒音測定器の設置に向けて、県との協議を行います。

栗林総務課長

職員の確認した分だけですが、現在までの7カ月で63件の飛行を確認しています。そして、夜間飛行については、4月に6件、5月に9件確認しています。

津波対策について

森 定雄 議員

避難路、避難場所の整備が進んでいます。現在の整備状況はどうなっているのでしょうか。また、南海トラフ巨大地震が発生すれば、建物の崩壊、浸水など大きな被害が予想されています。万が一に備えて帰宅困難者のための避難所及び備蓄食糧、倉庫などの準備状況は。

福井町長

平成23年度から高さ20m程度の一時避難所からより高い場所へ避難できる里山に避難路を整備しています。が、まだ完全な状況には至

県が騒音測定器の設置について検討するということがあれば、本町も積極的に進めたいと思っています。中止要請については、これらの経過を見ながら協議したいと思っています。

っていません。しかし、健康者であれば避難できる状況にあると考えています。現在、6地区に備蓄倉庫を整備し、簡易トイレや毛布も備蓄しています。平成25年度には食料など備蓄品の充実を図る計画です。

防災拠点として、東部は市宇ヶ丘学園、西部は建設予定の海部病院、防災公園を想定しています。

栗林総務課長

平成23年度、24年度の2か年に、県単独事業で今までの津波避難場所から、さらなる山の高台へ向けた避

避難路の整備やソーラー式電灯、手すりの設置、ブロック塀の撤去29箇所を実施、総延長は2641mを整備しています。

今年度1箇所の備蓄倉庫の整備を入れますと、全部で7箇所の備蓄倉庫を設置したことになります。

土砂災害及び集中豪雨対策について

森議員

土砂災害から住民の命を

守るために施行された土砂災害防止法ですが、警戒区域、特別警戒区域に県の調査で指定されています。崖崩れ、土石流、地滑りの基礎調査状況は。

最近、異常気象で集中豪雨、ゲリラ豪雨が頻発し、洪水被害が起こっています。牟岐町でも昭和51年の集中豪雨では橋が流され、土手が崩壊し、崖崩れ、土石流も発生し、町内では床上、床上572世帯が浸水被害に遭いました。集中豪雨に對しての防災、避難体制は。



県道日和佐牟岐線自歩道工事